

■ 動作環境

Microsoft® Windows® 上で Excel® が動作する環境

【FTB】ファイル名により Excel® で起動できるバージョンが制限されています

-ex-

【FTB】ファイル名：FTB_EX07m.xlsm ⇒ Excel 2007 でのみ動作

■ 導入事前設定

① マクロを有効にする

【FTB】は macro ファイルとして提供しています（拡張子 [xlsm](#)）

したがって、ご使用の Excel® 環境で、事前に「すべてのマクロを有効にする」に設定しておいてください

設定方法：【Office ボタン】⇒【Excel のオプション】

⇒【セキュリティ センター】⇒【セキュリティ センターの設定】

⇒【マクロの設定】⇒ [すべてのマクロを有効にする](#) を選択

⇒【開発者向けのマクロ設定】⇒ [チェックを入れる](#)

② 【FTB】ファイルの起動設定

Excel® の起動と同時に【FTB】ファイルを開くように設定します

設定方法：【Office ボタン】⇒【Excel のオプション】⇒【詳細設定】

⇒《全般》カテゴリー内の「起動時にすべてのファイルを開くフォルダ」に

【FTB】ファイルがあるフォルダパスを入力

-ex-

E ドライブの <FTBtool> フォルダに【FTB】ファイルがある場合

⇒ E:¥FTBtool

注意！

ここで指定したフォルダ内にあるファイルは、Excel 以外のファイルであっても、起動時にすべて開こうとしますので、注意してください

なお、複数バージョンの Excel® がインストールされている環境で、個人用マクロファイル「personal.xls（.xlsb）」と同じフォルダに【FTB】ファイルを入れると、【FTB】の指定バージョン以外の Excel を起動したとき、誤動作の原因となるので、推奨できません

※ 上記②の設定をせず、必要に応じて【FTB】ファイルを開いてもかまいません

■ 導入解除

以下のいずれかの方法で導入解除となります

- ・上記「導入事前設定②」で入力した、指定フォルダ名を削除する
- ・上記「導入事前設定②」で指定したフォルダから【FTB】ファイルを他へ移動する

■【FTB】ファイルの種類

【FTB】ファイルは、現時点で大きく分けて

- c 版 …… Excel® の標準機能として搭載されている各コマンドを設定できるもの
- m 版 …… c 版 機能以外にも、カラーや自作マクロを設定できるもの

上記2種類があります（FTB_EX07c.xlsm, FTB_EX07m.xlsm）

以下の各説明項目には、c 版…**c**, m 版…**m** 別対応表記がされていますので、ご使用の【FTB】に合った項目をお読みください

■《Floating Tool Box》の表示/非表示 **c m**

前述の「導入事前設定」が行なわれている場合、Excel® を起動すると、《Floating Tool Box》が表示されます



- c** …… page1～page3 の各タブに 30 ボタン、計 90 コマンド分を登録できます
- m** …… page1～page2 の各タブに 30 ボタン、計 60 コマンド
color のタブに、セル色 15 種、文字色 15 種
macro1～macro2 の各タブに、自作マクロ 12 ボタン、計 24 コマンド
が登録できます

登録されている各ボタンをクリックすると、そのコマンドが実行されます

※ 未登録のボタンをクリックしても、何も実行されません

《Floating Tool Box》のタイトルバーの部分をドラッグすれば、好きな位置へ移動できます

◆《Floating Tool Box》の非表示方法 **c m**

《Floating Tool Box》非表示にする場合は、右上の **x** ボタンをクリックします

※ 《Floating Tool Box》を非表示にするだけで、ファイル自体は閉じていません

◆《Floating Tool Box》の表示方法 **c m**

開いているブック上で《右クリック》すると、表示されるショートカットメニューの下段に以下のような項目が追加されています（画面表示が改ページモード以外の場合）

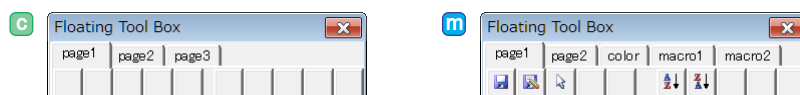
※【FTB】ファイルが開いていない場合、以下のメニューは追加されていません



FTB 表示：クリックすると《Floating Tool Box》が表示されます

なお、ご使用のモニターの解像度が低い場合や、使用するコマンドが少ない場合など、《Floating Tool Box》の表示が大きいと感じる場合は、上記の〔右ショートカットメニュー〕より、〔**FTB 表示-mini-**〕をクリックすると、1行目のボタンまでの高さで表示されます（横幅は変わりません）

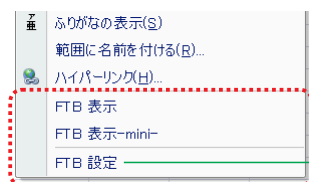
※ mini 表示の場合は、各タブの2行目以降のボタンは、選択できません



■【FTB】ボタン設定方法 c m

【FTB】の各ボタンにコマンドを設定するには、開いているブック上で《右クリック》し、表示されるショートカットメニュー最下段の【FTB 設定】をクリックしてください

※【FTB】ファイルが開いていない場合、以下のメニューは追加されていません



FTB 設定：クリックすると【FTB】ファイルの各ボタン設定用シートが表示されます



※【FTB】ファイルの各設定シートを選択した場合、誤操作などの防止のため、

《リボン》《クイック アクセス ツールバー》《数式バー》
を非表示モードにしてあります

また、各設定シートの《挿入》《削除》《名前の変更》《移動またはコピー》も使用できません

◆《コマンドボタン》の設定方法 c m

c …… page1～page3 の各タブに 30 ボタン、計 90 コマンド分を登録できます

m …… page1～page2 の各タブに 30 ボタン、計 60 コマンド分を登録できます

○ コマンド設定 シート画面



※上図は c の設定画面 m では《View》《タブ名変更》の「page3」はありません

初期設定では sample としてよく使うコマンドを部分的に登録してあります

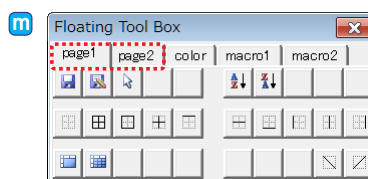
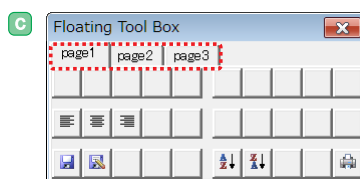
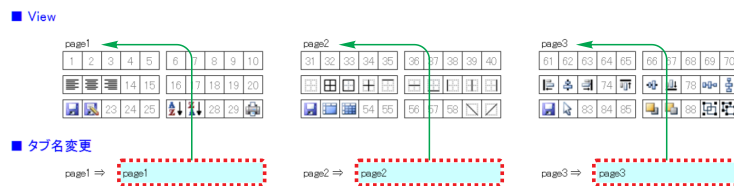
《View》…………… 各配置番号に 登録 / 削除 されたコマンドのアイコンを、リアルタイムで簡易的に表示します（設定確認用）

《タブ名変更》……… 各表示タブ名を任意に変更できます

《コマンド一覧》… Excel® の標準機能として搭載されている全コマンドの一覧より
コマンド名 や アイコン を調べ、各ボタンの配置番号に登録します

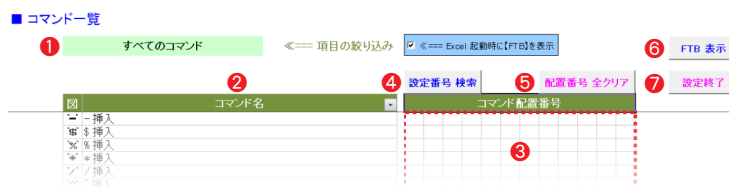
《タブ名変更》 c m

各表示タブ名を変更すると、以下のように反映されます
 タブごとに 業務別 / 作業別 などに分けて登録する場合などの目安になります
 文字数制限はありませんが、文字数を多くし過ぎると、タブ幅が広くなり、切替がしにくくなるので、注意してください



※ m には「page3」はありません

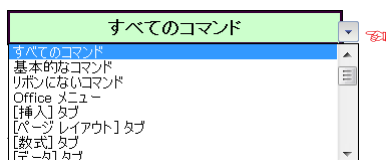
《コマンド登録方法》 c m



※ m では ⑥⑦ の表示位置が違います

① <すべてのコマンド>

この部分を選択すると、右側に ▾ が表示され、▾ をクリックするとリスト項目が表示されます



表示されたリスト項目のいずれかを選択すると、そのカテゴリーでコマンド群が絞り込まれ、② <コマンド名> に一覧が表示されます

② <コマンド名>

① のリスト項目で絞り込まれたコマンド群が、一覧表示されます

また、<コマンド名> には オートフィルター が適用されているので、右側の ▾ をクリックし、「テキスト フィルタ」でコマンド名の一部を入力して、絞り込むこともできます

※ フィルター内での各種ソート機能は使用できません

＝制限事項＝

《 Floating Tool Box 》 に登録できるコマンドは、 **ストレートコマンドのみ** です
 (1クリックで実行できるもので、クリック後、サブメニューが表示されるものや、項目から選択するメニューが表示されるコマンドは登録できません)

※ 登録できないコマンド名は、背景がグレーの赤文字 で表記してあります

③ <コマンド配置番号>

登録したいコマンド名の右側にあるマス目に、《View》のボタン配置番号を参考に、ボタンの番号を入力します
番号を入力すると、リアルタイムでそのコマンドのアイコンが、《View》のボタンに表示されます

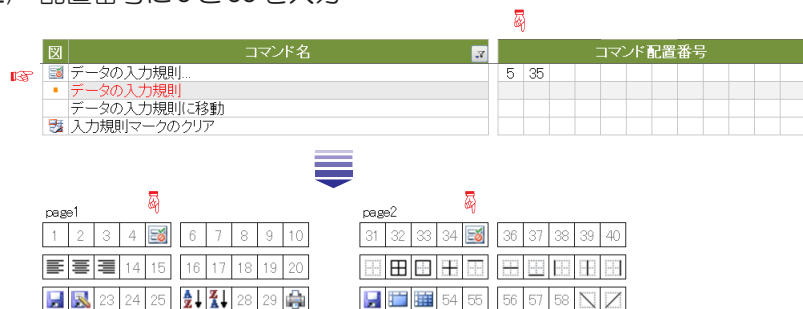
※ コマンド名の背景がグレーの赤文字になっているものは選択できません
選択できないコマンドは、Excel®の《クイック アクセス ツールバー》に登録または、自作マクロを作成することにより、補ってください

なお、タブを業務別や、mini表示にしたときを想定し、**同一コマンドを最大12箇所まで登録**できます

-ex-

配置番号5と35に「データの入力規則」のコマンドを登録

- (1) オートフィルター機能を使い、コマンド名で絞り込む
〈テキスト フィルタ〉⇒〈指定の値を含む〉⇒「入力規則」
- (2) 配置番号に5と35を入力



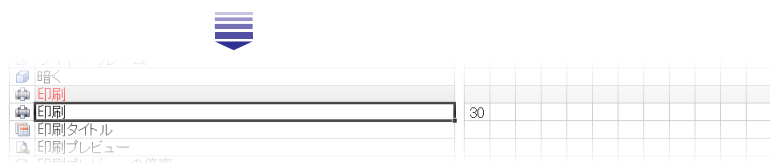
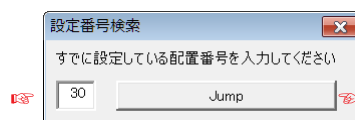
④ <設定番号 検索> ボタン

配置番号に登録してあるコマンド名にJumpします
[配置番号の変更]や[追加配置]，[登録削除]のときに使用します

-ex-

③の例で、配置番号30のコマンドにJumpします

- (1) **設定番号 検索** ボタンをクリック
- (2) 30と入力し **Jump** ボタンをクリック



⑤ <配置番号 全クリア> ボタン

<コマンド配置番号>に登録してある全番号と、《View》のボタンに表示されている全アイコンを、一括削除します

個別に登録されている配置番号を削除するときは、④<設定番号 検索>で対象番号を検索し、[Delete]キーで削除してください

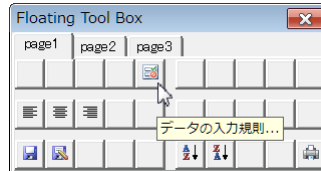
※ 誤動作防止のため、<コマンド配置番号>エリア内では、範囲選択できないようになっています

⑥ <FTB 表示> ボタン

ボタンをクリックすると《Floating Tool Box》が表示されます

※《右クリック》で表示されるショートカットメニューの〔FTB 表示〕と同じ設定したとおり、各タブのボタンにアイコンが表示されているか確認できます
登録されているボタンの上にカーソルを置くと、そのアイコンのコマンド名が表示されます

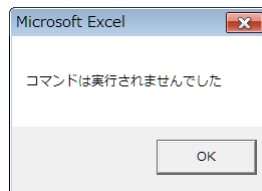
コマンドの実行テストは、【FTB】ファイルの各設定シート上では行なわず、他のブック上でテストをしてください
(設定シートには様々な保護機能が施されているため)



※図は c の場合

なお、ボタンをクリックしたとき、以下のようなエラーメッセージが出る場合、コマンドは実行されません

(図に対して実行されるコマンドのとき、あらかじめ対象となる図の選択がされていないとき など)



⑦ <設定終了> ボタン

<設定終了> ボタンをクリックすると、設定 / 登録 した内容が自動的に保存され、【FTB】のブックが非表示となります (ファイル自体は閉じていません)

【FTB】のブックだけを閉じたい場合は、Windows のタスクバーに表示されている【FTB】ファイル名を右クリックし、「ウィンドウを閉じる」で終了してください

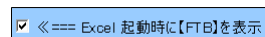
※ <設定終了> ボタンをクリック、もしくは【FTB】ファイルを閉じる動作が行なわれた場合、自動的にファイルは上書きされます

《Floating Tool Box》の自動表示


前述の「導入事前設定②」の設定を行なっている場合、もしくは【FTB】ファイルを個別に開いた場合に、自動的に《Floating Tool Box》が表示されるように設定できます

〔コマンド設定〕シート内の「Excel 起動時に【FTB】を表示」に✓が入ってる場合、起動時に《Floating Tool Box》が表示されます (初期設定)

解除する場合は「Excel 起動時に【FTB】を表示」部分をクリックすると✓が消えます



◆ 《color ボタン》 の設定方法

-  …… color のタブに、セル色 15 種、文字色 15 種のコマンドが登録できます
※ 各 セル色 / 文字色 の最初のボタンには、固定色が設定されているので、実際登録できるのは、各 14 種です

○ color 設定 シート画面



初期設定では sample としてよく使う color を部分的に登録してあります

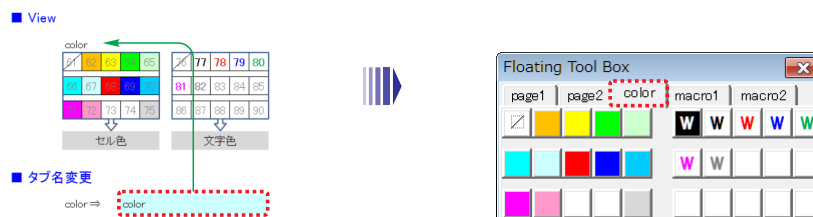
- 《View》 …… 各配置番号に登録した color を、リアルタイムで簡易的に表示します
(設定確認用)
- 《タブ名変更》 …… 表示タブ名を任意に変更できます
- 《セル色設定》 …… 《Floating Tool Box》の左半分のボタン62～75の配置番号に セル色 を登録します
- 《文字色設定》 …… 《Floating Tool Box》の右半分のボタン77～90の配置番号に 文字色 を登録します

注意！

《文字色設定》で登録されたコマンドは、選択されたセルの文字全体を設定色に変えるもので、セル内文字列の一部を、設定色に変えることはできません

《タブ名変更》

表示タブ名を変更すると、以下のように反映されます
文字数制限はありませんが、文字数を多くし過ぎると、タブ幅が広くなり、切替がしにくくなるので、注意してください



《セル色設定 / 文字色設定》

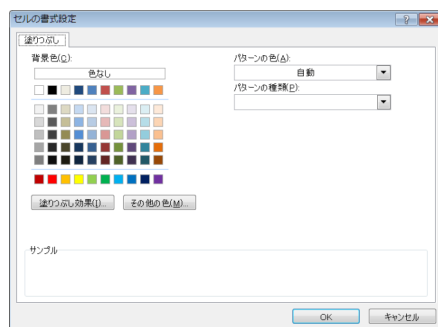


ボタンへの登録手順は、[セル色設定 / 文字色設定](#) 共に同じ操作方法です

① <配置番号> ボタン

登録したい場所を、《View》のボタン配置番号を参考に、ボタンの番号をクリックします

番号をクリックすると下図のようなダイアログボックスが表示されるので、登録したい色を選択後、**OK** ボタンで確定させます



※ 登録できる色は **単一色** のみです

上記ダイアログボックス内の

《塗りつぶし効果》 《パターンの色》 《パターンの種類》

を設定しても、**グラデーション** や **網掛けパターン** などは反映されません

設定できない効果を利用した色を登録したい場合は、自作マクロとして登録した後、**〔macro 設定〕** シートでボタン登録する方法もあります

なお、**同じ設定色を複数のボタンに登録することも可能です**

色を確定すると、<配置番号ボタン> の右側に設定色が反映され、同時に《View》の同じボタン番号にもその色が反映されます

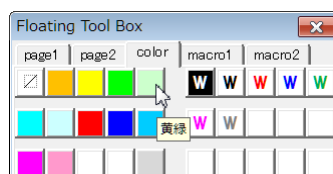
すでに色が付いているボタンを未登録にしたい場合は、その <配置番号ボタン> をクリックし、ダイアログボックスで **色なし** を選択してください

※ 配置番号 **61** (セル色) 無色
配置番号 **76** (文字色) 白色
は固定色で、登録はできません

② <Caption>

① で登録した <配置番号ボタン> にボタンに対するコメントを入力できます

未入力でもかまいませんが、入力しておけば《Floating Tool Box》で登録されているボタンの上にカーソルを置くと、コメントが表示されます



-ex-

セル色の 配置番号 62 [オレンジ] を RGB 設定で [ブラウン] に変更する場合

- (1) 配置番号ボタン 62 をクリックし、ダイアログボックスで
くその他の色> ➡ くユーザー設定>
カラーモデル: RGB, R:170, G:150, B:120 と設定



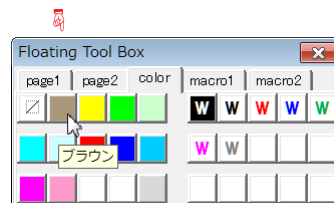
- (2) 62 の Caption に「ブラウン」と入力

■ セル色設定

配置番号	Caption
61	無色
62	ブラウン
63	黄

■ View

セル色	文字色
61	77
62	78
63	79
64	80
65	81
66	82
67	83
68	84
69	85
70	86
71	87
72	88
73	89
74	90



③ <FTB 表示> ボタン

ボタンをクリックすると《Floating Tool Box》が表示されます

※《右クリック》で表示されるショートカットメニューの〔FTB 表示〕と同じ color タブのボタンが、設定したとおりに表示されているか確認できます

コマンドの実行テストは、【FTB】ファイルの各設定シート上では行わず、他のブック上でテストをしてください

(設定シートには様々な保護機能が施されているため)

なお、上の例でもわかるように《View》の文字色の設定には、配置番号を太字の設定色で表現していますが、実際の《Floating Tool Box》では「W」の文字に置き換えています

④ <設定終了> ボタン

<設定終了> ボタンをクリックすると、設定 / 登録した内容が自動的に保存され、【FTB】のブックが非表示となります (ファイル自体は閉じていません)

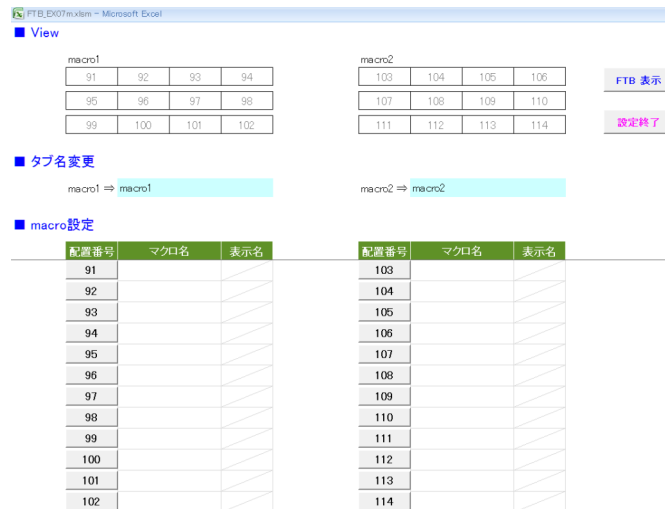
【FTB】のブックだけを閉じたい場合は、Windows のタスクバーに表示されている【FTB】ファイル名を右クリックし、「ウィンドウを閉じる」で終了してください

※ <設定終了> ボタンをクリック、もしくは【FTB】ファイルを閉じる動作が行なわれた場合、自動的にファイルは上書きされます

◆ 《macro ボタン》の設定方法

 …… macro1 ～ macro2 の各タブに、自作マクロ 12 ボタン、計 24 コマンドが登録できます

○ macro 設定 シート画面



■ View

macro1

91	92	93	94
95	96	97	98
99	100	101	102

macro2

103	104	105	106
107	108	109	110
111	112	113	114

FTB 表示

設定終了

■ タブ名変更

macro1 ⇒ macro1

macro2 ⇒ macro2

■ macro 設定

配置番号	マクロ名	表示名
91		
92		
93		
94		
95		
96		
97		
98		
99		
100		
101		
102		

配置番号	マクロ名	表示名
103		
104		
105		
106		
107		
108		
109		
110		
111		
112		
113		
114		

《View》…………… 各配置番号に登録された macro 名を、リアルタイムで簡易的に表示します（設定確認用）

《タブ名変更》……… 表示タブ名を任意に変更できます

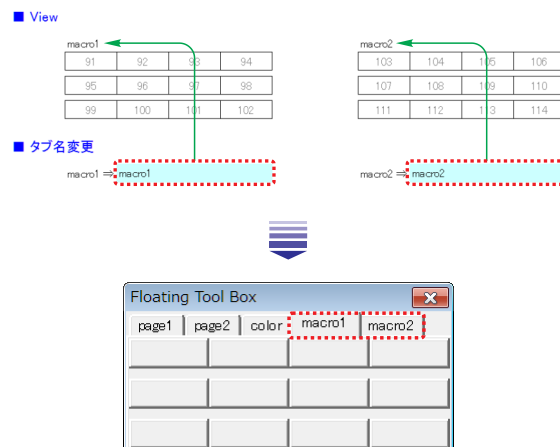
《macro 設定》……… 配置番号に 自作マクロ を登録します

注意！

《macro 設定》をする場合、登録するマクロが含まれるファイルが、開かれていなければなりません

《タブ名変更》

表示タブ名を変更すると、以下のように反映されます
文字数制限はありませんが、文字数を多くし過ぎると、タブ幅が広くなり、切替がしにくくなるので、注意してください



■ View

macro1

91	92	93	94
95	96	97	98
99	100	101	102

macro2

103	104	105	106
107	108	109	110
111	112	113	114

■ タブ名変更

macro1 ⇒ macro1

macro2 ⇒ macro2

Floating Tool Box

page1	page2	color	macro1	macro2

■ View

91	92	93	94
95	96	97	98
99	100	101	102

103	104	105	106
107	108	109	110
111	112	113	114

4 FTB 表示

5 設定終了

■ macro 設定

配置番号	マクロ名	表示名
91		
92		
93		
94		

配置番号	マクロ名	表示名
103		
104		
105		
106		

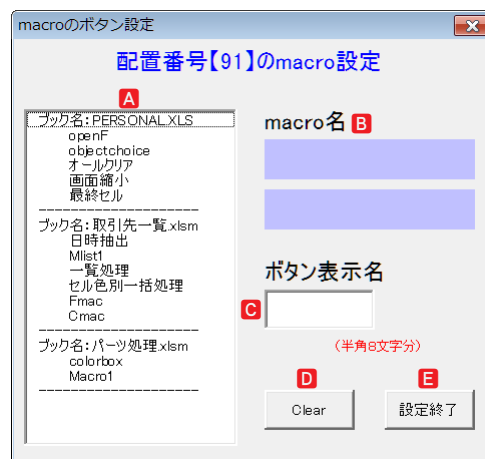
1 <配置番号> ボタン

※ 事前に、登録したいマクロが含まれるファイルを開いておいてください

登録したい場所を、《View》のボタン配置番号を参考に、ボタンの番号をクリックします

番号をクリックすると下図のようなダイアログボックスが表示されます

下の例では、すでに Excel® で [取引先一覧.xlsm] と [パーツ処理.xlsm] のファイルが開かれている状態で <配置番号ボタン 91> をクリックした場合です



A のリストから、登録したい [マクロ名] をクリックします


リストには、現在開かれているファイルの [ブック名] と、そのファイルに保存されている [マクロ名] の一覧が表示されます

※ [マクロ名] は Private マクロ名も含まれます

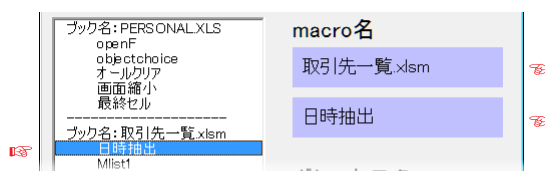
表示される [マクロ名] は、

<ThisWorkbook> <Sheet> <標準モジュール> <フォーム> <クラス モジュール> に記述されているものです

※ 【FTB】ファイルに含まれるマクロは表示されません

登録したいマクロ名が表示されていない場合は、そのマクロを含むファイルが開かれていないので、一度  でダイアログボックスを閉じ、対象ファイルを開いた後に、再度 <配置番号ボタン> をクリックすれば、表示されます

B の <macro 名> の上段には A で選択されたマクロが含まれる **ファイル名**、下段にはその **マクロ名** が自動的に表示されます



C の <ボタン表示名> に、《Floating Tool Box》で表示されるマクロの名称を入力します（文字数は半角8文字まで）

※ <ボタン表示名> を未入力にすると、登録はできません

D の  ボタンをクリックすると、選択されているマクロを解除します

※ すでに登録されているマクロを、未登録にする場合に使用します

E の  ボタンをクリックすると、設定した内容が登録されます

※ 同じマクロを複数のボタンに登録することも可能です

② <マクロ名>

① で選択した、実際のマクロの名称（オリジナル名）が表示されます

※ 違うブックに 同じ名称の マクロ名 がある場合、それぞれを登録すると、<マクロ名> の表示には（オリジナル名）として、同じ表記がされます
この場合、<ボタン表示名> の入力時に、違う名称で登録すれば、区別しやすくなります

なお、別ブックの同じ名称の マクロ名 を登録していても、コマンド実行時には、それぞれの保存先ブックから関連付けをしているので、区別されています

また、ボタン登録されているオリジナルのマクロが、どのブックに保存されているかを確認したい場合は、対象の <配置番号ボタン> をクリックすると、<macro 名> の上段部分でブック名がわかります

《Floating Tool Box》を表示し、ボタンの上にカーソルを置いて、確認できます


③ <表示名>

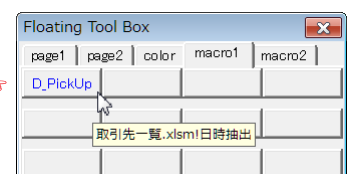
① で入力した <ボタン表示名> が表示されます

■ macro設定

	配置番号	マクロ名	表示名
	91	日時抽出	D_PickUp
	92		
	93		

■ View

macro1			
	D_PickUp	92	93
	95	96	97
	99	100	101



④ <FTB 表示> ボタン

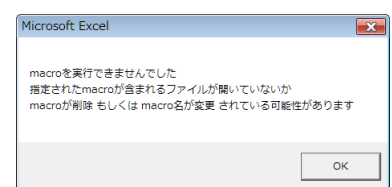
ボタンをクリックすると《Floating Tool Box》が表示されます

※ 《右クリック》で表示されるショートカットメニューの〔FTB 表示〕と同じ各タブのボタンが、設定したとおりに表示されているか確認できます

コマンドの実行テストは、【FTB】ファイルの各設定シート上では行わず、他のブック上でテストをしてください

（設定シートには様々な保護機能が施されているため）

なお、ボタンをクリックしたとき、右のようなエラーメッセージが出る場合、コマンドは実行されません



⑤ <設定終了> ボタン

<設定終了>ボタンをクリックすると、設定 / 登録した内容が自動的に保存され、【FTB】のブックが非表示となります（ファイル自体は閉じていません）

【FTB】のブックだけを閉じたい場合は、Windows のタスクバーに表示されている【FTB】ファイル名を右クリックし、「ウィンドウを閉じる」で終了してください

※ <設定終了>ボタンをクリック、もしくは【FTB】ファイルを閉じる動作が行なわれた場合、自動的にファイルは上書きされます

基本的にマクロは実行後「元に戻す」ことはできませんので、注意してください

Excel® 全般で使用頻度の高いマクロは、個人用マクロファイル [personal.xls(.xlsb)] に登録し、利用することをお勧めします

【FTB】の《macro 設定》で登録されたマクロは、参照元のオリジナルマクロに影響は及ぼしません

■ 制限事項

= 【FTB】ファイル =

- ・購入時にライセンス登録された Excel® でしか起動できません
- ・ファイル名により Excel® で起動できるバージョンが制限されています
- ・ファイル名を変更すると、使用できません
- ・複数の【FTB】ファイルを同時に開くことはできません

= コマンド設定 =

- ・《Floating Tool Box》に登録できるコマンドは、ストレートコマンドのみです（1クリックで実行できるもので、クリック後、サブメニューが表示されるものや、項目から選択するメニューが表示されるコマンドは登録できません）

= Color 設定 =

- ・セル色 / 文字色 共に、登録できる色は 単一色 のみです
色の設定をするダイアログボックス内の
《塗りつぶし効果》《パターンの色》《パターンの種類》
を設定しても、グラデーション や 網掛けパターン などは反映されません
- ・文字色設定 で登録されたコマンドは、選択されたセルの文字全体を設定色に変えるもので、セル内文字列の一部を、設定色に変えることはできません

= macro 設定 =

- ・macro 登録で設定したコマンドは、オリジナルマクロがあるファイルが開かれていない場合、実行できません
なお、オリジナルマクロ名を [変更 / 削除 / 他ブックへ移動] した場合、macro 登録ボタンも再設定してください

■ 利用規約


Quwon が提供する【FTB】ファイルは、利用者が以下の規約に同意した場合にのみ、ご利用できます

- ・本【FTB】ファイルに対し、[改ざん / 修正 / 機能追加 / 保護解除] 等を行なわない
- ・本マニュアルからの 無断引用 / 転載 を行なわない
- ・macro 登録された自作コマンドの実行後の動作結果に対しては、利用者責任とする

□ 無料体験版

ご購入前に【FTB】を試してみたいという方は、無料体験版を用意してあります

なお、Trial 版には以下の制限があります

- ・ Trial は  版が元となっています
- ・ 全ボタン番号への登録はできますが、実際に実行できるのは
ボタン番号：1～5，31～35，62～65，77～80，91～94 のみです
- ・ 登録した内容は保存できません
(【FTB】ファイルを閉じると、登録内容はクリアされます)
- ・ 使用期間は一週間となっています

上記制限事項以外は正規版と変わりません